

発言No. 14

受付No. 13

令和 6年 6月 7日
9時 7分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 20 番

氏名 西 田 清 久

答弁を求める者 ☐市長 ☐教育長 ☐監査委員 ☐選挙管理委員会委員長
(○をつける) ☐農業委員会会長 ☐固定資産評価審査委員会委員長 ☐公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 夏場対策について

(1) 公共施設の利活用について

- ① 熱中症のリスクが高まる夏場において、各地の自治体では冷房設備を備えた「クーリングシェルター」確保の動きが増えている。浜田市に於いても市役所、支所、各まちづくりセンターなど市民の一時的休息所としての「まちなかオアシス」を開設する考えがないか問う。

(2) 夏休み中の学童保育について

- ① 学童保育など夏休み期間は児童が増えている。合同体験などで移動する機会も多くなると思うが、移動手段にスクールバスなどの増便が可能かどうか問う。

(3) 夏場対策緊急予算枠の創設について

- ① 近年の夏場の気候は尋常でない。子どもたちの遊びや高齢者の集いにしてもリスクは避けられず、通常予算枠で対応できない緊急措置として夏場対策緊急予算枠を創設する考えがないか所見を問う。

2 浜田市の新たな財源確保策について

(1) 自主財源について

- ① 近年、中期財政計画の歳入は、中国電力の大型償却資産の影響による地方税の増や毎年10億円以上のふるさと寄附のおかげで一定の水準を維持しているが、人口減少や社会、経済変動の激しい中で、市の20年後の歳入の想定について問う。
- ② 将来の浜田市の自主財源確保策について、中心となる産業があると思うが、どのような方向性に可能性を見出そうとされるのか所見を問う。
- ③ 近年、全国各地で地域の環境や資源を活用したソフトビジネス、スモールビジネスが生まれている。浜田市においても個性と魅力あるビジネス創出のチャンスが十分あると考える。取組への仕掛けが必要と考えるが支援体制はどうあるべきか、市としての考えを問う。